

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第9回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○頸城区地域活性化の方向性の検証について

○地域協議会活動報告会について

3 開催日時

令和5年12月20日（水）午後6時30分から午後8時50分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

0名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：上村閨一（会長）、笠原昇治（副会長）、小川泉、西巻肇、船木貴幸、山本誠信、横山一雄、橋本春美（委員13人中8人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所岡村所長、渡邊次長、井部市民生活・福祉グループ長、本山教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、市川主査

8 発言の内容

【渡邊次長】

- ・会議の開催を宣言

【上村会長】

- ・挨拶

【渡邊次長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：山本委員、橋本委員に依頼

【上村会長】

次第3 協議事項「(1) 頸城区地域活性化の方向性の検証について」に入る。事務局に説明願う。

【渡辺班長】

・事務局からの説明

【上村会長】

質問はあるか。

無いようなので資料No.1-2「令和5年度地域独自の予算 チェックシートのまとめ」に入る。チェックシートの「地域独自の予算事業の取組と将来像(テーマ)への進み状況」に回答いただいたが、そのように考えた理由を、一人ずつ発言いただきたい。

【小川委員】

全ての事業が概ね計画通りに進められてきたと思っている。今進めていることを終わらせ、それから次の形にしたほうがよいと考えた。

【西巻委員】

私は、見直しの必要はないと考える。全体的に見て課題がいくつかあるので、それを解決し実効性を高めるのはハードルが高くなるように思う。どの事業に関してもそうだが、例えば人材不足、人材育成は共通課題であるようだ。人材を集めていくことは大きな問題であると思う。

【船木委員】

一部の事業において、課題があり見直しが必要だと考える。一つの柱(取組項目)に複数の事業が掛かるものがある。例えばファーマーズマーケットやポケットパークなどは手が付けられていないのが現状である。「外国人市民との交流」であったり、ポケットパークを外した「季節の花が咲く通学路」であったり、内容を一つに集中して取り組んでいけばよいのではないかと。

【山本委員】

私は事業全体の見直しが必要であると思う。どのように横の連携をとるか、そして若い人たちをどのように取り込むかがポイントだ。組織としてはあるもののそこから枝をどのように伸ばしていくのか、それが大きな問題になるのではないかと。それを考えたならば、2つを1つにするなどいろいろ考えていけばよいかと思った。また、チェックシート内の「買い物難民」は削除した方がよいと思う。

【横山委員】

私はその項目に回答していないのは、あまりにも課題が多くありすぎるように思ったからだ。我々が事業として進めたいということで出した事業が周知されているのか、もう一度考えなければならないと思っている。

【橋本委員】

私は一部の事業において課題があり見直しが必要と回答した。その理由として、柱（取組項目）の1つ1つの方向性で唯一、変更が必要と判断したのが、「外国人との交流とファーマーズマーケット」だ。地元の方の意識と外国人市民の方が本当に望んでいるものと私たちが考えているものがマッチしていなかった。その中身を本当に必要なものに変えていく必要があると思った。皆さんが言ったとおりファーマーズマーケットが必要ないとなると、新たな形で外国人市民が望んでいるもの、また、交流や意思疎通が取れるものが必要だと思った。

【笠原副会長】

私は全体を見直し再検討が必要であると思っている。この活動の趣旨も周知されておらず、地域協議会委員も含めて手探りの状態であると感じている。あまり時間がとれない中の議論であるので、もう少し地域協議会委員自身もその活動の趣旨をしっかりと理解して、そのあと一つ一つのところに協力を求める形が必要ではないかと思う。

【上村会長】

私の場合は取りまとめという立場なのでチェックシートは事務局へ提出していない。先般、会長、副会長、事務局でこの資料について意見交換をした。取り上げた課題の一つとして、地域協議会委員の役割について言及したい。我々はボランティアの団体ではないし、基本に戻れば市長と意見交換や諮問があればそれを住民の意見としてどう扱っていくのか議論することが基本になると思っている。

このチェックシートの回答では、例えば「大池・小池を活かした観光」についても具体的に踏み込んでいる方が多いが、これは頸城区観光協会に任せているし、雁金城跡保存会も具体的に取り組んでいるので、我々はポイントだけをつなげていけばよいと思っている。4本柱（取組項目）が5本柱になり1年少々過ぎたが、ここに住民のアンケート調査が必要という回答があり、まさにその通りだと思った。4本柱に関わっている住民の皆さん、そして地域協議会委員も担当に分かれて議論をしながら進めているが、10年後20年後のビジョンを今一度熟考すべきだと思う。外国人市民と

の意見交換のあり方についても話があったが、視察研修に行った上田市では外国人市民の要望のデータを把握していたし、そのデータに基づき事業が提案されていた。頸城区の外国人市民が何を望んでいるか、担当部署との意見交換もしながら、無理な押し付けは避けるべきだと思っている。

それでは、これから2つの班に分かれ意見交換を行う。

－ 2つの班に分かれた意見交換 －

【上村会長】

各班の意見交換の要旨を代表者から発表願う。

【橋本委員】

「季節の花が咲く通学路、ポケットパーク」では、保育園児から中学生までを巻き込み、その親の参加を促すのが最良との話になった。今年度、各保育園に花の球根を配布し、それを園児に渡す際に地域独自の予算事業として花の活動をしている内容の手紙が添えられ、園児の親から「お花頑張っているね」などの話があった。子供たちが大変喜んでいたので、子供を巻き込みながら親も巻き込んで周知を図ろうという意見でまとまった。次に、頸城区の市民の認知度を上げることが必要だという話になった。内容としては、活動を継続していき地域の担い手を一緒に育成していくものだ。また、花のスポットを増やすことで、写真を撮る人がそれをSNSに投稿していくのではないか。

「外国人の交流とファーマーズマーケット（買い物難民）」は、市と連携して進めていくことが一番大事だという意見があがった。そのため受け入れる私達日本人の言葉の教育と心構えが必要となり、最後に外国人市民が何を望んでいるかを聞こうという意見でまとまった。

情報発信は、SNSも大事だがやはり紙ベースで年間の予定表を出すことも大事だ。SNS情報発信では、内容の精査も必要だという意見もあった。

【西巻委員】

私たちは、「大池・小池を活かした観光」と「くびきのお宝（レールパーク、館）活用」について意見を出した。この2つの取組の課題はほぼ同じである。どちらもファンの獲得と、今携わっている人達の高齢化問題で、その人材確保が一番大事ではないかとの意見であった。イベントは、今は頸城区観光協会やくびきのお宝のこす会で実行しているが、単独で実施するのは難しいので実行委員会のような組織を作り、い

ろいろな角度から協力してもらい、物事を進めるのが一番大事ではないかとの意見があった。次に、早期にイベントを企画し、他団体等と連携したうえでのイベント開催が必要であるという意見であった。また、子供たちの目線を通しての企画や情報発信が必要であり、大人と違う角度からの企画や情報発信ができればよいとの意見もあった。

情報発信に関して、デジタル慣れをしていない方を対象にSNSなどの学習を通じて、皆さんに慣れてもらうのが1番大事という意見もあった。

【上村会長】

我々の任期4年間の中で地域活動支援事業から「地域独自の予算」に変わり、特に花の事業の活動が活発になっている。今回は我々と話し合いを進め事業を進めたが、頸城線の街路樹を花壇にしたことで苦情が出てこなかったのは少し安堵している。それから実行委員会を立ち上げて、いろいろな形で協議していった方がよいという意見も出ていた。改選後の地域協議委員の皆さんにつないでいければ、10年後20年後の夢が叶うのではないかと思っている。それでは、今発表されたことをまとめ進めていきたいがいかがか。

- ・異議なしの声

【上村会長】

次回の進め方について説明願う。

【渡辺班長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

今の説明について何か質問や意見はあるか。

【船木委員】

この宿題は頸城オリジナルか。

【渡辺班長】

頸城のオリジナルである。

【船木委員】

これについては後日報告会のようなものはあるか。またそれぞれの委員に回答などの資料を配布するのか。

【渡辺班長】

皆さんの意見を集約させてもらい、次期委員へ引き継ぎのような形を取りたいと思っている。

【船木委員】

次期とは。

【渡辺班長】

皆さんがどのような気持ちでこの活動の方向性に取り組んでいたのかを書いてもらい、引継ぎという形で次期委員に引き継いでいきたいと思っている。

【船木委員】

では、誰がどのようなことを書いたかを伏せて資料にするのか。

【市川主査】

頸城区のまちづくりのテーマ「住みたいまち、訪れたいまち」の思いは、10人いれば10人違ってくるはずなので、どのようなまちづくりをしたいか次回共有してもらいたいと思っている。その上で次の新しい任期の地域協議会委員に、皆さんが検討した「住みたいまち、訪れたいまち」を伝えることができたらいと思っている。それは1つに絞られることもあるがほとんど無理だと思っている。あと、皆さんの個々がこんな風に思っていると実名を上げるのではなくイメージの言葉を並べる形で伝えることを想定している。

【船木委員】

了解した。

【上村会長】

他にあるか。

・特になし

次の地域協議会委員に引き継がれることだと思って、一生懸命20年後30年後を想定し議論しているが、次の地域協議会委員の皆さんに100%我々の意見を受け入れてもらえるかわからない。頸城村が合併する時に10年後、20年後はどうなっているか文言に書いたものがあつたがあまり相違がない。そのような意味では一生懸命私どもが頭をひねってまとめることが無駄ではないと思っている。我々が検討した内容を土台にしたものを12月27日までに提出してもらえればと思う。

他にあるか。

【笠原副会長】

欠席した方にも本日検討した資料を出して、ぜひとも意見を求めてほしい。

【上村会長】

笠原副会長の意見も参考として、前へ進めてもらいたい。協議事項「(1) 頸城区地域活性化の方向性の検証について」は以上で終了とする。

次に協議事項「(2) 地域協議会活動報告会について」に入る。事務局、説明願う。

【渡辺班長】

- ・地域協議会活動報告会について説明

【上村会長】

これは継続審議で、資料を基に事務局から詳細な説明があったが質問等あるか。

- ・特になし

それではこの要領で進めていくこととする。協議事項「(2) 地域協議会活動報告会について」は以上で終了とする。

次にその他に入る。事務局、説明願う。

【渡辺班長】

- ・今後のスケジュールを説明

【上村会長】

改めて事務局から今後のスケジュールについて説明があったがそれでよいか。

- ・異議なしの声。

それでは次に入る。

【渡邊次長】

- ・次回の第10回地域協議会の日程について提案

令和6年1月17日（水）午後6時30分から開催

【上村会長】

開催日時は問題ないか。

- ・なしの声

他にないか。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-530-2311 (内線 212)

E-mail: kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。